期援う支の援教は、

を育

に援家

にの

街 号の見方一時 do 総 合 計 日 曲 時 審 議 会 場 会 内 0 委 内

容

対

対

象

定

定

員

費

費

用

申

申

L

込

み

X

締

8

切

ŋ

持

持ち物

問

問

e V

合

わ

せ

FAX

4

4

4

0

8

1

5

員

を

募

集

ま

ਰ ਰ

• • • • •

計画審議会」の委員を草みたり、情報共有し、意、換を行うため、「八街市、か、一八街市、市民と行政が一を行うため、「八街市、意、一次を行うため、「八街市が、一大人」を行うため、「八街市が、一大人」を行うため、「八街市が、 計交体る年 0 画換とに度 1 ます 心 報 任募

次募

暴い募街平員八以年市平る で街上以内成 上に30 在住年 住所 6 しが月 てあ1 いり日 、現 る 満か在 20つで 歳 1

- で30 を他年なの の 8 い職 会日
- 員 61 2 委
- 市を
- が

方の資 要格 件 を す ベ 7 満 たた L 7

。員 お ょ び 議 会

は市

力な 委市成 以審月 上議1 女嘱されている。 て公八

有 团 し てしていない سل な いと 密 接 な 関 係

のの 会滯議納 にが 参な 加い

で

会期集 最長 なが終了するt 8月1日 2人数 2人 5 会 0 議 で平成 0 出 0 席 32 円 1 ま 年3月31 口 で本

5

画

審

議

布 に6上ポ要らし申持月11かの ージからダウンローで布しているほか、中込書は、企画 月 1 29 2 日 0 (なこと」: 公募**方法** 公募委員: をまたは郵送してください。 参または郵送してください。 卜 日 0 金 任 までに会 学以内) をの申 テー ま込 画 8マ0と づく 市政 を ホ策ー課 くっこ 添えて、 ムで 字たにれ ペ配 以 レ必か

選考方 7 2 8 9 法 市 1 1 街 ほ ードできます。 35 9 番 2 地 29

間企画 見高 応 目一募 政策に対している。 策 一創動 審 査の性機 5 選 項建問 考し 目設題 を的意 ま な識 選意の

IJ 术 **|** ア 1 を 布 ま व

なきっ 親

かか

自身も二月がら与えら

与 Saitor Saitor

り氏の将た、が父来さ

必や何イ 至 を族 お継 要福 5 が 方 か 子続成 と サ 祉 とするお子さんとそ他において特別な支 で乳さ的長 0) ポ で継続して、記録さんの生育歴や支的に受けられるよ 1 害 卜 が あ ア いるなど、 1 ル 配だお作八布さり成街 つ健つ布 は場しい 場い ま 康

り成街ラ し市イ、地フ す 地 フ の次域サ での自ポ 窓立 1 ぜ口支ひで援 ト フ ご配協 ア 活布議 イ 用し会ル くてがを う と あ作い

る Y u りま

k i

ず。

7

0)

一を振り

返

てと

き

合う

き

と人向生

FAX し増 園 進 園 課 学が 校い 教 福 育 祉 課課

0

会御

ょ

n

ル デ 1 ツ • ウ 才 ク教 李 **(D)** 参 加 者 募 集

理 な 負の ル荷ポ なく全身運動 を ク・ウォ 使 、健康増設 ひ参. 歩 加 進 1 が

対場 15の原 ス 方則ポ 市内在住・ 在と勤そ 0) 在周 学辺

雨 天 中止 15 日 (土)

(先着 順

定

申費 ス 無 込ポ料 やみ。 1 ツ 振 興 課 13 電 話 で

ツ 帽 歩 クな 子、 ど飲す IJ ユ ック サ

※ ださ 荷 物 自 責 任 で 管 理 L 7

1 ツ

街 市 家 庭 教 講 演 会 を 開 催

ま

व

5



(受付

前

6 L

月

10 29

(金)

前

午時日

11

分

ま

演 場 講 Y師が題中中 即 映画監督(成田市出か、子の将来を作る』題 『親が与えるきっか甲央公民館 i Sait \mathbf{O} 齊 藤出 か

勇 ķ

おど子でをさ つ ※ ※ 対 き手託市 話児民貴 ま 室を す通 訳 用 意してあ 要 約 筆 記 りま 通 訳 が

6

あ ま d

文化 会館 建 同設 同様の様よた ため ŋ 定寄

₽

1

1 同

ルの

児 童 手 当 現 届 は お 早 め

申 す 方 以提る 降出必 要 児 児れが童 童なあ手 を な現いいの手いりい況る。で当場ま 当 ま 現 給 期が合す 況 届れ を 7 提い

き みい 物服 手 袋、

出な分

<

、なりま

す

0 さ

間受は、

にら6

内け

受給されてい

さが※ こい。お替 ポ 1 持ルは の貸 方 L は出 ご し 持 で きま 参 < だす

いは。白

間く **☆**ス 4ポ **7**

持ちく 康保て日29 保険支を日 険に援除金 ださ 被加課く 保 入

け ・ 給居・生保でで、 とは、 とは、 とは、 となった。 となった。 これ は なった は な 修了 前まで 子ど L 月 て 31 もい日 は国

所 里 7 い児場件象持る童合でのこ 子 ども 設ます。 は、 、など施し 設に

゚。険し ・支認※計赴てい・の 支月上※ 設置者などが受給対 4 子 2 10 6 給額の所月中月 3 月 3 月 3 給く公を任いる監 4 育月月月5場得額学額第歳額第歳額歳額だ務維のる場護 置者などが受給対象者です。 とは、子どもと同居しる方が受給対象者(単身る方が受給対象者(単身る方が受給対象者(単身の場合は主に子どもの生の場合は主に子どもの生の場合は主に子どもの生の場合は主に子どもと同居している方)です。 生 0 合制 3 以 1 以 未 0は限1 (1子上1子上1満0、が0-5 小0・小5 (, U · 小 5 (学 0 第学 0 一 校 0 ° 一 円児あり律り で 童り 0 す 1 、 0 校02校0律 0 です。 第1人につき り、限度額以 修0子修0 0 前 前

絡く

場合に

は郵は

子送 6

て期期期 支 … … 援1062 課月月月 ~ ~ ~ 9 月 月 月 分分分

6 9 3

着と用 推 進 強 化 月 間 C d

こし を乗 ょ 正用 い必 着 対 用し 要 間正に国 ☆ 443 — 1 1 1 9
☆ 443 — 1 1 1 9 ☎防し合の子

を 後 習 対 悪 関 果

座づを

ま解

ベ席け理

1

卜

卜